

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第67期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 株式会社ナンシン

【英訳名】 NANSIN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 齋藤 彰 則

【本店の所在の場所】 東京都中央区八丁堀三丁目21番4号

【電話番号】 03 - 3551 - 2366

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 大久保 浩 司

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八丁堀三丁目21番4号

【電話番号】 03 - 3551 - 2366

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 大久保 浩 司

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
株式会社ナンシン大阪支店
(大阪府大阪市東成区玉津一丁目9番25号)
株式会社ナンシン名古屋支店
(愛知県名古屋市中区千代田三丁目18番15号)
株式会社ナンシン九州支店
(福岡県福岡市博多区博多駅南四丁目13番21号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期 連結累計期間	第67期 第1四半期 連結累計期間	第66期	
				会計期間
売上高	(千円)	1,887,434	1,987,007	8,105,401
経常利益	(千円)	265,965	325,860	1,262,677
四半期(当期)純利益	(千円)	202,332	205,796	1,158,933
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	229,226	204,516	1,176,925
純資産額	(千円)	5,492,935	6,537,409	6,440,522
総資産額	(千円)	12,187,589	11,976,699	12,248,855
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	26.37	26.82	151.05
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	45.1	54.6	52.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要や政策効果等により個人消費を中心に緩やかな回復基調にあるものの、一方で、欧州債務危機に端を発する急激な円高の進行や世界経済の減速等により、先行き不透明な状況にあります。

当社グループが属する業界におきましても、産業の空洞化が進む中、主要な取引先である機械工具業界や物流業界からの受注に今ひとつ力強さが感じられません。

こうした状況の下、当社グループは、生産の海外シフト等による更なる原価低減に努め、経営体質の充実強化に注力してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,987,007千円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は増収や粗利益率の改善により287,256千円（前年同四半期比9.9%増）、経常利益は325,860千円（前年同四半期比22.5%増）、四半期純利益は205,796千円（前年同四半期比1.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

日本

売上高は1,888,680千円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益（営業利益）は233,750千円（前年同四半期比14.9%増）となりました。

マレーシア

売上高は生産の増大により435,254千円（前年同四半期比12.8%増）、セグメント利益（営業利益）は増収や円高に伴う原価低減により49,886千円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

中国

売上高は生産の増大により254,756千円（前年同四半期比25.2%増）、セグメント利益（営業利益）は物価の高騰等により6,022千円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、5,808,081千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が132,126千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、6,168,617千円となりました。これは主に、建物及び構築物が57,077千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、11,976,699千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7.3%減少し、3,355,578千円となりました。これは主に、短期借入金が199,297千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、2,083,711千円となりました。これは主に、リース契約補償損失引当金が84,756千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、5,439,290千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、6,537,409千円となりました。これは主に、利益剰余金が98,385千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は54.6%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、27,198千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績の著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	29,200,000
計	29,200,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,708,000	7,708,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 1,000株であります。
計	7,708,000	7,708,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日		7,708,000		1,696,500		1,516,000

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 35,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,654,000	7,654	
単元未満株式	普通株式 19,000		
発行済株式総数	7,708,000		
総株主の議決権		7,654	

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ナンシン	東京都中央区八丁堀三丁目21番4号	35,000		35,000	0.45
計		35,000		35,000	0.45

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,450,085	1,395,186
受取手形及び売掛金	1 2,375,536	1 2,243,410
有価証券	199,920	149,940
商品及び製品	894,446	984,010
仕掛品	306,741	330,998
原材料及び貯蔵品	511,537	553,725
その他	205,530	153,327
貸倒引当金	2,669	2,516
流動資産合計	5,941,129	5,808,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,526,229	2,469,151
土地	2,291,277	2,291,277
その他(純額)	369,681	352,601
有形固定資産合計	5,187,187	5,113,030
無形固定資産	252,477	234,340
投資その他の資産		
その他	882,521	835,067
貸倒引当金	14,460	13,820
投資その他の資産合計	868,060	821,246
固定資産合計	6,307,726	6,168,617
資産合計	12,248,855	11,976,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,094,829	1,061,485
短期借入金	2,111,693	1,912,396
1年内返済予定の長期借入金	58,500	53,400
未払法人税等	31,221	35,540
賞与引当金	45,894	23,194
役員賞与引当金	6,400	-
その他	272,342	269,561
流動負債合計	3,620,880	3,355,578
固定負債		
長期借入金	72,750	60,600
退職給付引当金	242,987	248,322
役員退職慰労引当金	415,850	432,680
リース契約補償損失引当金	1,103,678	1,018,922
事業整理損失引当金	239,118	218,355
資産除去債務	18,734	18,822
その他	94,333	86,008
固定負債合計	2,187,452	2,083,711
負債合計	5,808,332	5,439,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,696,500	1,696,500
資本剰余金	1,542,759	1,542,759
利益剰余金	3,245,880	3,344,265
自己株式	9,421	9,640
株主資本合計	6,475,717	6,573,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,262	22,244
為替換算調整勘定	57,457	58,719
その他の包括利益累計額合計	35,194	36,474
純資産合計	6,440,522	6,537,409
負債純資産合計	12,248,855	11,976,699

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,887,434	1,987,007
売上原価	1,289,018	1,328,242
売上総利益	598,416	658,764
販売費及び一般管理費	336,972	371,508
営業利益	261,443	287,256
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,873	5,299
受取賃貸料	9,709	9,660
為替差益	2,327	26,222
物品売却益	1,279	7,191
その他	5,646	3,756
営業外収益合計	22,835	52,130
営業外費用		
支払利息	7,043	4,380
賃貸収入原価	5,285	5,170
その他	5,985	3,975
営業外費用合計	18,314	13,526
経常利益	265,965	325,860
特別利益		
固定資産売却益	70	-
特別利益合計	70	-
特別損失		
固定資産除売却損	69	948
特別損失合計	69	948
税金等調整前四半期純利益	265,966	324,911
法人税、住民税及び事業税	12,876	32,553
法人税等調整額	50,757	86,560
法人税等合計	63,634	119,114
少数株主損益調整前四半期純利益	202,332	205,796
四半期純利益	202,332	205,796

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,332	205,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,038	18
為替換算調整勘定	27,932	1,261
その他の包括利益合計	26,894	1,279
四半期包括利益	229,226	204,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,226	204,516
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	62,849千円	44,247千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	76,304千円	69,939千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	38,363	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	107,411	14.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	マレーシア	中国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,779,501	37,568	70,364	1,887,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,115	348,257	133,165	484,538
計	1,782,617	385,825	203,530	2,371,973
セグメント利益	203,477	45,324	6,360	255,163

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	255,163
セグメント間取引消去	6,280
四半期連結損益計算書の営業利益	261,443

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	マレーシア	中国	
売上高				
外部顧客への売上高	1,886,003	37,670	63,332	1,987,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,677	397,583	191,423	591,684
計	1,888,680	435,254	254,756	2,578,691
セグメント利益	233,750	49,886	6,022	289,659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	289,659
セグメント間取引消去	2,403
四半期連結損益計算書の営業利益	287,256

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26円37銭	26円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	202,332	205,796
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	202,332	205,796
普通株式の期中平均株式数(株)	7,672,727	7,672,010

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月10日

株式会社ナンシン
取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中野敦夫 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小杉真剛 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ナンシンの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ナンシン及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。